

平成 27 年 12 月 25 日

報道関係者各位

アートアクセスあだち 音まち千住の縁 冬のプログラム 開催のご案内

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」（通称「音まち」）事業にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび5年目を迎えた「音まち」では、下記のとおり足立区千住地域を中心に冬のプログラムを開催いたします。つきましては、本事業をぜひとも貴媒体にてお取り上げいただき、また当日のご取材を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

■ アートアクセスあだち 音まち千住の縁（通称「音まち」）
アートを通じた新たなコミュニケーション（縁）を生み出すことをめざす市民参加型のアートプロジェクトです。足立区千住地域を中心に、市民とアーティストが協働して、「音」をテーマにしたまちなかライブ、ワークショップ、トークイベントなどを展開します。

本事業に関するお問い合わせ

「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」事務局（担当：橋本、吉田、富山）

〒120-0026 東京都足立区千住旭町 22-9-201 音う風屋

Tel：03-6806-1740（13:00～18:00、火曜・木曜除く）

Mail：info@aaa-senju.com Web：http://aaa-senju.com

主催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、東京藝術大学音楽学部、特定非営利活動法人音まち計画、足立区



資料概要

p. 4 [2015年度特別企画] 大巻伸嗣「くろい家」



千住の空き家がアートに変わる。
時の影が、ゆれる。

千住で歴史を刻んだとある大きな「くろい家」。
長い年月でいくつもの顔を見せてきたこの家で、
美術家の大巻伸嗣は、この冬何を見せてくれるのか。

日 程：平成28年1月30日(土)～3月13日(日)
[土日月・祝日のみ開催] 10:00～17:00

p. 7/11 [2015年度新規事業] 千住・縁レジデンス

今夏のオープンコンペティションで選出された2人の新進作家、久保ガエタンと友政麻理子。
千住での滞在制作を経て、1月から3月にかけて展示を行います。

久保ガエタン「記憶の遠近法」



“お化け煙突”の見える風景

初夏、「千住・縁レジデンス」のコンペに向けてリサーチを始めた久保ガエタンの目を捉えたのは、千住の「お化け煙突」。
「輪廻」ともいえる歴史に突き当たり、形にする作品とは？

日 程：平成28年1月23日(土)～3月13日(日)
[土日月・祝日のみ開催] 10:00～19:00

友政麻理子「知らない路地の映画祭」



映画を撮ってみたい。
そんな夢が叶うプロジェクトが始まった。

現在、滞在制作中の友政麻理子の呼びかけに集まった一般参加者が主体となり、制作方法からつくりあげた映画を上映します。

日 程
展 示：平成28年1月23日(土)～3月13日(日)
[土日月・祝日のみ開催] 10:00～19:00
上 映 会：平成28年3月11日(金)～13日(日)

p. 14 イミグレーション・ミュージアム・東京
 トークシリーズ「多文化共生について考える」芸術編 第2回
 ドキュメンタリー映画『ハーフ』上映会&トークイベント



多文化社会におけるハーフたちのストーリー

ドキュメンタリー作品『ハーフ』の上映と出演者によるトークを通して、ハーフたちの複雑な心境や現代の日本での多文化的な経験を見つめ、発見の旅へと導きます。

日 程：平成 28 年 1 月 23 日（土）
 14:00～17:00（13:30 開場）

p. 17 千住フライングオーケストラ「研究発表会」



“空から音が降り注ぐ演奏会”は実現できるのか！？

悪戦苦闘の一年間の開発の成果報告として、新たなアイデアのもと生み出された凧の実演と、これまでの試行錯誤の歩みを語る研究発表会を開催します。

日 程：平成 28 年 1 月 16 日（土）
 13:00～15:00

p. 21 千住ミュージックホール 第9回
 ホワイトスタジオ「シカクトライアングル」- Visual Triangle



視覚・聴覚・身体表現が融合する一夜限りの饗宴

生演奏、クラブミュージック、コンテンポラリーダンスとともに、国内を代表する3組のトップVJたちが鮮やかな色彩にあふれた迫力の映像を真っ白なスタジオのキャンバスに生み出します。

日 程：平成 28 年 1 月 31 日（日）
 18:00 開演（17:00 開場）

※内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

大巻伸嗣 「くろい家」

[2015 年度特別企画]



大巻伸嗣はかつてアトリエを千住の日の出町に構えており、それをきっかけに 2011 年度から「Memorial Rebirth 千住」を開催してきました。年に一度のペースで千住のまちなかの風景を変える試みを続け、千住ではシャボン玉で知られる大巻ですが、彼がこのまちで現代美術家としての本領を見せる空間インスタレーション展示を行うのは、今回が 2 回目となります。

前回は 2012 年の「イドラ」。「偏見」や「先入観」を意味する表題がつけられ、近代化したまちなかにたたずむ戦前の古民家、その中で出会う、思いもよらない空間を提示することで、人々を驚かせました。

大巻は、各地で古民家を舞台にした展示を発表しています。代表的な作品は、中房総国際芸術祭いちほらアート×ミックス (千葉) の「おおきな家」や、大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ (新潟) の「影向の家」です。いずれも煙を含んだシャボン玉が空中をただよう様子を目で追い、弾けたときの一瞬の煙の造形を楽しむ作品ですが、その光景は時がとまったような、時をさかのぼるような不思議な感覚をもたらします。

これまで大巻は、千住で「Memorial Rebirth 千住」と「イドラ」というまったく対照的な 2 つの作品を発表してきましたが、「くろい家」は、時空をさまよう新たな世界を見せてくれるでしょう。

千住の空き家がアートに変わる。 時の影が、ゆれる。

下町の喧噪を抜けると、突如現れる「くろい家」。築 50 年を超える異様な佇いで、かつては鉄工所、居酒屋、釣堀だったとか。時間が止まったままのこの空間で、アーティストの大巻伸嗣が時の影をゆらします。かすかに気配が動くのは、忘却から蘇る時なのか、それとも異次元の時間なのか。

千住では、「Memorial Rebirth 千住」で毎年無数のシャボン玉を飛ばしてカラフルな空間を提示している大巻ですが、今回の作品で、ゆっくりと現れる孤独な光の玉はモノトーン。その中には、ゆらぐ影が隠れていて…。市原の「おおきな家」、越後妻有の「影向の家」などで発表された神秘的な世界が、千住ではどのような展開をみせるのでしょうか。

【開催概要】 [公式サイト URL <http://aaa-senju.com/ohmaki>]

日 程：平成 28 年 1 月 30 日（土）～ 3 月 13 日（日）

[土日月・祝日のみ開催] 10:00～17:00

料 金：無料 [申込不要]

※混雑状況によって入場をお待ちいただく場合がございます。

会 場：くろい家 [東京都足立区千住仲町 29-4]

アクセス：北千住駅（西口）から徒歩約 10 分

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

ゲストキュレーター：難波祐子



(2012 年 大巻伸嗣「イドラ」)

■会期中イベント

「アーティスト・トーク」

今冬に千住で活動をしているアーティストを招き、トークイベントを開催します。

日 程：平成 28 年 2 月 28 日（日）

17:00～19:00

会 場：東京藝術大学千住キャンパス スタジオ A [東京都足立区千住 1-25-1]

アクセス：北千住駅（西口）から徒歩約 5 分

料 金：無料 [事前申込可能・先着 50 名]

ゲ ス ト：大巻伸嗣、友政麻理子、久保ガエタン

モデレーター：難波祐子

※事前予約が定員に達しない場合のみ、当日受付を実施

[実施の場合は公式サイト (<http://aaa-senju.com/ohmaki>) にて告知]

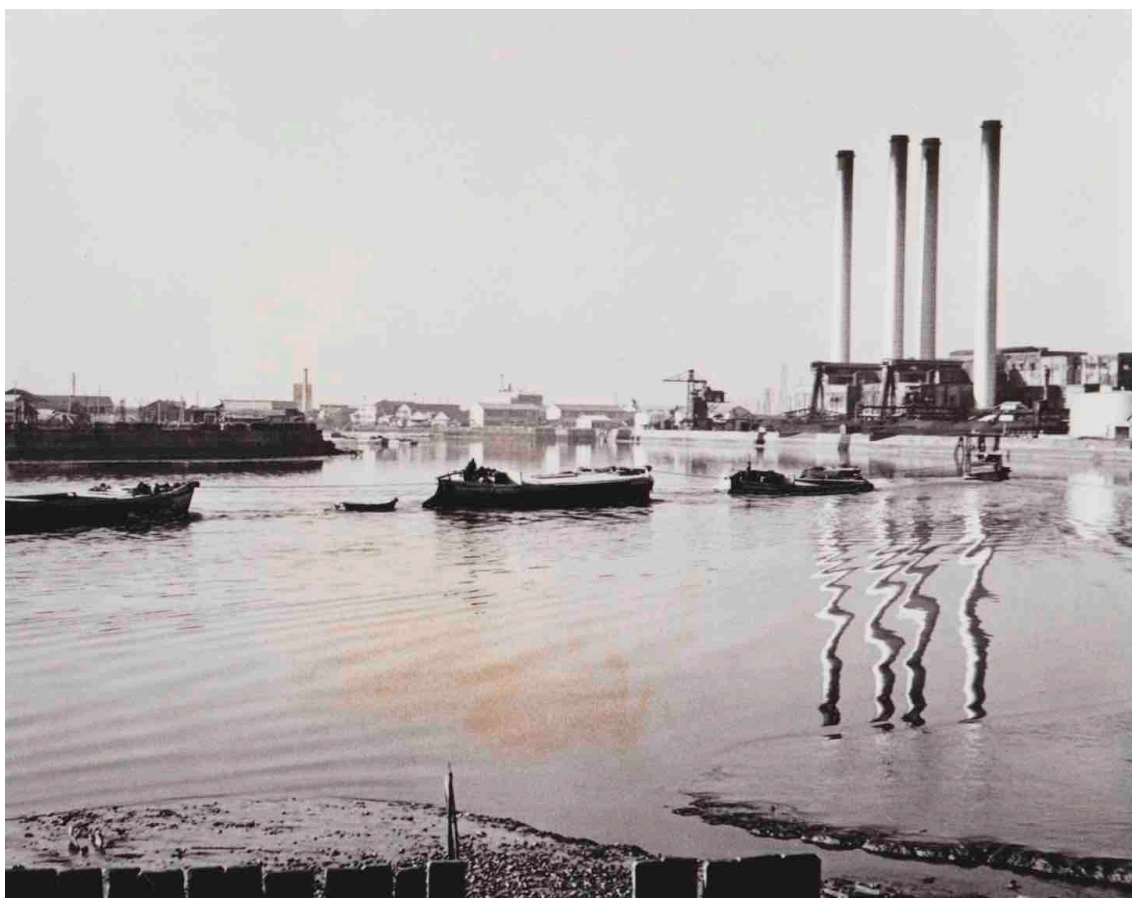
【アーティスト・プロフィール】



■大巻 伸嗣 | おおまき しんじ

1971 年岐阜県生まれ。東京藝術大学美術学部彫刻科准教授。アジアパシフィックトリエンナーレや横浜トリエンナーレ 2008、エルメス セーヴル店（パリ）、アジアンアートビエンナーレなど世界中の芸術祭や美術館・ギャラリーでの展覧会に参加している。展示空間を非日常的な世界に生まれ変わらせ、鑑賞者の身体的な感覚を呼び覚ます、ダイナミックな作品《Liminal Air》・《Memorial Rebirth》・《ECHO》を発表している。

<http://www.shinjiohmaki.net>



千住・縁レジデンスは、千住ならではの〈場〉や〈人〉とのリアルなコミュニケーション（縁）を深めることを目的としています。夏に指名制のオープンコンペティションを開催し、久保ガエタン・友政麻理子の2名のアーティストを選出しました。

“お化け煙突”の見える風景

かつて、足立区千住地域のシンボルであった「お化け煙突（旧：千住火力発電所）」は、多くの人々に親しまれつつも1964年に解体されました。しかし、地元有志によって、その一部は小学校の滑り台として生まれ変わり、帝京科学大学のモニュメントとして現存しています。

作家・久保ガエタンは数奇な運命を辿る「お化け煙突」に着目し、残された手掛かりを紡ぎながら、さまざまな人々と出会い、新たな物語を創り出してきました。本展はこの「お化け煙突」に由来する作品の発表から、更なる“輪廻”を生み出します。

久保ガエタンは、友政麻理子とともに、音まちの新事業である「千住・縁レジデンス」の滞在制作アーティストに選出された、27歳の新進作家。彼はこのオープンコンペティションに臨むまでのリサーチの経過で、自身のルーツであるフランス・ボルドー地方と千住の「お化け煙突」につながりがあることに辿り着きました。

自身の制作において、過去の作品を壊して次の作品をつくることが多い久保はこう語ります。「ものが変わっても、記憶は伝承される。西洋では驚かれますが、日本には古来受け継がれる精神ですよね。」と。まさにものが生まれ変わる輪廻です。

千住に住む人々の中に刻まれた「お化け煙突」の記憶を、一体どのように輪廻させるのでしょうか。江戸川乱歩の小説『押絵と旅する男』に着想を得た澁澤龍彦の『記憶の遠近法』のように、不思議なタイムスリップを追体験する展覧会を開催します。



【開催概要】 [公式サイト URL <http://aaa-senju.com/residence>]

展示期間：平成 28 年 1 月 23 日（土）～ 3 月 13 日（日）

[土日月・祝日のみ開催] 10:00～19:00

会 場：たこテラス [東京都足立区千住 4-20-6]

アクセス：北千住駅（西口）より徒歩約 10 分

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

料 金：無料 [申込不要]

助 成：公益財団法人朝日新聞文化財団

協 力：足立区立郷土博物館、株式会社東光高岳、帝京科学大学、
東京電力株式会社上野支社、格和宏典、瀬川辰馬、姫野和映、
森芳久

■会期中イベント

「アーティスト・トーク」

日 程：平成28年2月28日（日）

ゲストに大巻伸嗣、友政麻理子、久保ガエタンを迎え、難波祐子が進行を務めます。

※詳細は 6 ページ（「くろい家」紹介ページ）をご覧ください。

「アーティスト・ツアー」

アーティスト・久保ガエタンによる、展示作品の解説ツアーを行います。

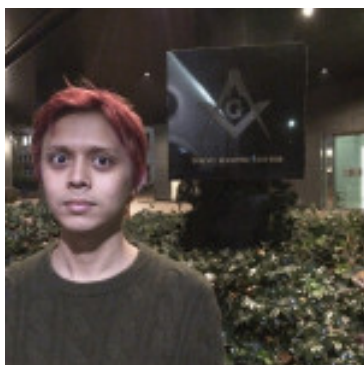
日 程：平成 28 年 2 月 1 日（月）・13 日（土）・28 日（日）

各日 13:00～ / 15:00～

会 場：たこテラス [東京都足立区千住 4-20-6]

料 金：無料 [先着 15 名]

【アーティスト・プロフィール】



■久保 ガエタン | くぼ がえたん

1988年東京生まれ。2011年東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業。2013年同大学院美術研究科修士課程先端芸術表現専攻修了。近年の主な個展に

「Madness, Civilisation and I」「Hysterical Complex」

(児玉画廊、2012、2013年)、グループ展に「群馬

青年ビエンナーレ」(群馬県立近代美術館 2012、2015

年) など。2014年、国際交流基金 若手アーティスト米国派遣事業においてニューヨークとロサンゼルスに滞在し、ニューヨークのジャパン・ソサエティで発表などを行った。

千住・縁レジデンス 友政麻理子「知らない路地の映画祭」

[2015 年度新規事業]



だれでもできる映画制作

～千住でしかできない映画づくりにチャレンジしてみませんか？～

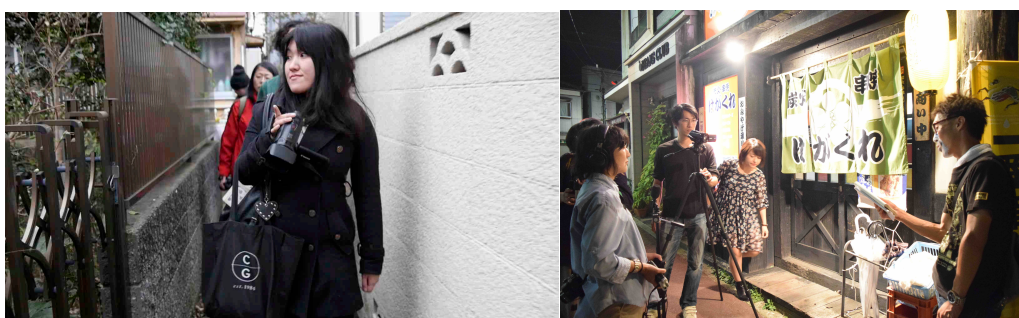
今夏開催されたオープンコンペティションで選出された友政麻理子による、自主映画制作プロジェクト。「知らない路地の映画祭」では、3月中旬に出演者・脚本・監督が一般の参加者で構成され、千住で撮影が行われた新作も上映される予定です。

「もともとある映画のつくり方『型』を真似るのではなく、映画以外のことから始めたい。映画づくりに関して何も知らなくてもいいんです」と友政は説明会で語りました。その言葉通り、参加者は千住のおやじバンドのライブをビデオ撮影している人や、子供と一緒に何かをしたいというお母さん、千住に住む香港からの留学生など、実に多彩です。毎週の活動に加えて、ロケハンを兼

ねた路地散策や鍋を囲みながらの懇親会で一人ひとりの距離も徐々に近づき、彼らが初めて出会ったときから物語は紡がれています。

また、金沢やアフリカのブルキナファソなど各地で展開される友政の代表的映像作品「お父さんと食事」も、千住のリサーチの一環としてつくられます。見知らぬ男性と友政が、一回の食事の間だけ親子になる努力をするという内容で、お互いが抱く「親子」のイメージがすれ違いながらも、人生やまちの歴史なども見え隠れし、束の間現れるその親子の「型」のようなものが印象的です。作品は、1月23日から展示されます。

「水と土の芸術祭 2015」では、ロケ弁をつくる夫妻がチームの要になったというエピソードがありました。千住では、一体どのような人間模様が見られるのでしょうか。



(千住でのリサーチの様子)

(「水と土の芸術祭 2015」)

【開催概要】 [公式サイトURL <http://aaa-senju.com/p/8138>]

展示期間：平成28年1月23日（土）～ 3月13日（日）

[土日月・祝日のみ開催] 10:00～19:00

場 所：たこテラス [東京都足立区千住4-20-6]

アクセス：北千住駅（西口）より徒歩約10分

料 金：無料 [申込不要]

上映会：平成28年3月11日（金）～ 13日（日）

※会場等、詳細内容は後日公式サイト [<http://aaa-senju.com/residence>] にて発表予定

会期中イベント

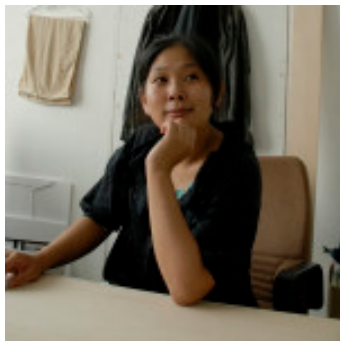
「アーティスト・トーク」

日 程：平成28年2月28日（日）

ゲストに大巻伸嗣、友政麻理子、久保ガエタンを迎え、難波祐子が進行を務めます。

※詳細は6ページ（「くろい家」紹介ページ）をご覧ください。

【アーティスト・プロフィール】



■友政 麻理子 | ともまさ まりこ

1981年埼玉県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科博士課程修了。コミュニケーション過程に現れる典型的な「型」に焦点を当て作品制作やワークショップを行う。近年は父と娘の食事中の会話や、やまびこや輪踊りのような風習をモチーフに、他者との相互理解の成り立ちを探る。主な展覧会に「近づきすぎてはいけない

けくない -Have a meal with Father-」TALION GALLERY（東京／2015）、

「Between art and science 2014」IRFAK OASIS（ブルキナファソ）、ナポリ科学博物館（イタリア）、「與父親共餐」Treasure Hill, Creative Lounge（台北／2013）、「クリテリオム 85 友政麻理子展 “waodori”」水戸芸術館（茨城／2012）など。2015年7月「水と土の芸術祭」（新潟）に出品。あわせて、市民と「瀉の夢映画祭」プロジェクトに取り組んでいる。

<http://www.tomomasa.info/>

イミグレーション・ミュージアム・東京
トークシリーズ「多文化共生について考える」 芸術編 第2回
ドキュメンタリー映画『ハーフ』上映会&トークイベント



足立区の外国人居住率は東京 23 区内でも上位であり、特にフィリピン人の居住率が高い地域です。その中で多くを占めるのが 40～50 代の女性たちであり、彼女らの子供の多くはハーフとして生まれ、足立区内の小学校に通っています。本イベントでは、自身もハーフである 2 人の女性監督の視点で撮影された、5 人のハーフたちのドキュメンタリー映画を鑑賞します。さらに、出演者のトークから多様化する日本の現状・課題に迫ります。

多文化社会におけるハーフたちのストーリー

人々が頻繁に世界中を移動する時代となり、日本でもますます人々の移動が盛んになっています。そして、その日本には、両親のどちらかが外国人という人々が多く存在するようになりました。中には外見的に目立つ人もいれば、全く目立たない人もいます。ドキュメンタリー作品『ハーフ』は、このようなハーフたちの複雑な心境や、現代の日本での多文化的な経験を通して、発見の旅へと導きます。（映画公式サイトより抜粋）

監督・撮影 西倉めぐみ、高木ララ（2013／日本／87分）

【開催概要】 [公式サイト URL <http://aaa-senju.com/imi>]

日 程：平成 28 年 1 月 23 日（土）

14:00～17:00（開場 13:30）

出 演：矢野デイビット、須本エドワード（映画『ハーフ』出演者）

料 金：一般 1,000 円・学生 500 円（要学生証）

[要事前申込・先着 200 名、小学生以下無料]

※残席のある場合のみ、当日受付を実施

[実施の場合は公式サイト (<http://aaa-senju.com/imi>) にて告知]

会 場：帝京科学大学 3 号館 B1F 講堂 [東京都足立区千住元町 33-1]

アクセス：北千住駅（西口）よりバス約 5 分、

「千住桜木バス停」下車後徒歩約 3 分

【出演者プロフィール】



■矢野 デイビット | やの でいびつと

ミュージシャン、タレント、司会、一般社団法人Enije 代表。分野：音楽、スポーツ、社会問題、教育。

日本人の父とガーナ人の母との間に生まれ、ガーナで起きた暴動事件の影響により 6 歳から日本に移住。学業のほかピアノとサッカーを学び 18 歳まで児童養護施設で育つ。明星大学英文科卒業。学生時代からモデルや CM の仕事を始め、「ユニクロ」、「リカルデント」、「エネループ」、「インテル」などの仕事を経て、「すぽると!」、「世界ふしぎ発見」、「FOOT×BRAIN」、「5時に夢中!」などテレビ番組にも出演。その傍ら、好きだったピアノを通して音楽活動をスタートし、都内を中心にピアノの弾き語りを始める。現在ではソロ活動のほか、元 J リーガーで作詞作曲家の兄と薬科大学に通う弟とのユニット YANO BROTHERS としてもライブ活動を展開。



■須本 エドワード | すもと えどわーど

「ミックスルーツ・ジャパン」代表。ベネズエラ人の父と日本人の母の間に生まれ、神戸で育つ。

日本につながりのある多文化な人々が集うボランティア団体「ミックスルーツ・ジャパン」の代表として2006年より家族向けイベントや映画祭、コミュニティラジオ番組、更には2006年にNHKドキュメンタリーにもなったアート・音楽祭と青少年向け表現ワークショップ「Shake Forward!」を企画。2010年からは大阪大学や南カリフォルニア大学との協同企画で学術研究を立ち上げ、積極的な社会対話促進活動を行っている。今後はより「体感できる社会対話」のテーマを追求するため、公開フォーラムなどを充実する一方で移動展示会なども計画している。

【企画概要】

■イミグレーション・ミュージアム・東京

イミグレーション・ミュージアム・東京は日本で暮らす外国人の生活や、言葉だけでは伝えきれない想いを、現代美術の手法を用いて表現するプロジェクトです。特に足立区は東京23区の中でフィリピン人の在住率が最も高く、企画がスタートした当初より交流が続いています。これまで会社員、学生、留学生、美術大学の教員、移民支援活動の経験者などさまざまなメンバーが参加し、今後は従来の現代美術作品の展示に加え、さまざまな角度から異文化について議論が可能なプラットフォームをつくることを目指しています。



千住フライングオーケストラ「研究発表会」



“空から音が降り注ぐ演奏会”は実現できるのか！？

「千住フライングオーケストラ」は、プロジェクトの発起人である音楽家・大友良英から、テクニカルディレクター・山元史朗へと引き継がれ、装い新たに“空から音が降り注ぐ演奏会”の実現に向けて動き出しています。今年度は千住以外の地域へも遠征し、凧の仕組みに関わるリサーチ、実験を続けてきました。しかし、開発の道のは決して容易なものではありません。来たる1月16日には、悪戦苦闘の一年間の成果報告として、新たなアイデアのもと生み出された凧の実演と、これまでの試行錯誤の歩みを語る研究発表会を開催します。空から音が降り注ぐ不思議な凧を揚げてみませんか？

【開催概要】 [公式サイト URL <http://aaa-senju.com/sfo>]

日 程：平成 28 年 1 月 16 日（土）

13:00～15:00

出 演：山元史朗、松本祐一、和田永、遠藤一郎、武田晃男

料 金：無料

第一部「実験風揚げ」 ※雨天時中止

時 間：13:00～13:40

場 所：荒川河川敷 虹の広場[東京都足立区千住 5 丁目先]

アクセス：北千住駅（西口）より徒歩約 15 分

第二部「研究発表会」

時 間：14:00～15:00

場 所：安養院[東京都足立区千住 5 丁目 17-9]

アクセス：北千住駅（西口）より徒歩約 10 分

定 員：先着 50 名[事前申込可能]

※事前予約が定員に達しない場合のみ、当日受付を実施

[実施の場合は公式サイト（<http://aaa-senju.com/sfo>）にて告知]



【出演者プロフィール】

■山元 史朗 | やまもと しろう

1970 年大阪生まれ。筑波大学芸術研究科修了。岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー（IAMAS）の設立時助手、山口情報芸術センター(YCAM)の開館準備室からの勤務、日本科学未来館の技術スタッフを経て、現在フリーランスの展示技術者。国内外の大規模なアートプロジェクトや展覧会にテクニカルディレクターとして多数従事。

■松本 祐一 | まつもと ゆういち

茨城大学工学部電気電子工学科卒業。会社員を経て、岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS)を卒業。作曲を早川和子、三輪眞弘に師事。アンケートを行い、その回答の文章を品詞分解し、音楽を生成する「アンケート・アート」が代表作。2008年度武満徹作曲賞第1位（審査員スティーブ・ライヒ）。

www.enquete-art.org/

■和田 永 | わだ えい

1987年生まれ。古い電化製品とコンピュータを組み合わせて音楽・美術作品の制作、パフォーマンスを行う。2009年よりオープンリール式テープレコーダーを操り演奏するグループ「Open Reel Ensemble」を結成。コンサートを始め、CD/DVDや書籍の出版、映画やファッションショーへの楽曲提供、参加型の音楽&アート・プログラム「エレクトロニコス・ファンタスティコス！」など多岐に渡る活動を展開し、2013年末には20台のオープンリールを用いた「Open Reel Orchestra」を公募による楽団員を率いて、実現した。また、ブラウン管テレビを演奏するプロジェクト「Braun Tube Jazz Band」、インスタレーション作品「時折織成 -落下する記録-」が文化庁メディア芸術祭で受賞。各国でも公演や展示を展開中。

<http://www.steamblue.net/>

■遠藤 一郎 | えんどう いちろう

未来美術家、island JAPANプロデューサー、多摩川カジュアルデザイナー、DJ。車体に大きく「未来へ」と描かれた、各地で出会った人々がそのまわりに夢を書いていく『未来へ号』で車上生活をしながら全国各地を走り、「GO FOR FUTURE」のメッセージを発信し続ける。

■武田 晃男 | たけだ あきお

凧愛好家、日本の凧の会会員。NPO法人音まち計画理事。十代より、父親と共に世界各地の国際凧揚げ大会に参加。世界アートカイト、ディズニーランドや世界万博の凧のイベントにも参加している。六角凧を専門とし、凧のワークショップも行う。

【企画概要】

■千住フライングオーケストラ

千住フライングオーケストラは、音楽家 大友良英が中心となって足立区千住地域にて始まったプロジェクトです。“空から音が降り注ぐ演奏会”を目指し、平成23年より活動しています。これまでに「音の出る凧」や「音の出る提灯」などを開発し、さまざまなアプローチを試みています。プロジェクト FUKUSHIMA! (福島)、六本木アートナイト2013 (六本木)、アンサンブルズ・パレード／すみだ川音楽解放区 (浅草) など、千住を離れた遠征活動も展開しています。

<http://senju-flyingorchestra.tumblr.com/>

【監修】

■大友 良英 | おおとも よしひで

1959年生まれ。即興演奏家として世界各地で活動。また映画や、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」の音楽等、数多くの映像作品の音楽を手がけ、その数は70作品を超える。近年は「アンサンブルズ」の名のもと、さまざまな人たちとのコラボレーションを軸に展開する音楽作品や特殊形態のコンサートを手がけると同時に、障害のある子供たちとの音楽ワークショップにも力を入れている。2011年3月の震災を受け、自らが暮らした福島において、文化の側から支援を目指す「プロジェクト FUKUSHIMA!」を主催。平成23年度 芸術選奨文部科学大臣賞 芸術振興部門受賞。

<http://d.hatena.ne.jp/otomojamjam/>



(上総唐人凧職人工房リサーチ)

(昨年度の様子)

千住ミュージックホール 第9回

ホワイトスタジオ「シカクトライアングル」 - Visual Triangle



※写真はイメージです。

視覚・聴覚・身体表現が融合する一夜限りの饗宴

千住ミュージックホールが真冬のステージに選んだのは巨大で真っ白なホワイトスタジオ！ この日、プロジェクターと音響機材を持ち込みホワイトスタジオが巨大な舞台に生まれ変わります。生演奏、クラブミュージック、コンテンポラリーダンスとともに国内を代表する3組のトップVJたちが、鮮やかな色彩にあふれた迫力の映像を真っ白なスタジオのキャンバスに生み出します。

映像×音楽×ダンスの一夜限りのスリリングな饗宴をどうぞお見逃しなく！

【開催概要】 [公式サイト URL <http://aaa-senju.com/musichall>]

開催日：平成 28 年 1 月 31 日（日）

時間：18:00 開演（17:00 開場）

出演：Jimanica (音楽)×HEXPIXELS (比嘉了 / Kezzardrix) (映像)

小暮香帆 (dance) × Akiko Nakayama (Alive Painting)

Nyolfen (音楽) & 大橋史 (映像)

BGM : NOEL-KIT + Phasma

料金：一般 1,000 円・学生 500 円（要学生証）

[事前申込可能・先着 200 名・小学生以下無料]

※本公演は座り／立ち見がございます。

席数に限りがございますのでお早めにご来場ください。

※事前予約が定員に達しない場合のみ、当日受付を実施

[実施の場合は公式サイト (<http://aaa-senju.com/musichall>) にて告知]

会場：ホワイトスタジオ [東京都足立区千住 1-4-1 東京芸術センター2F]

アクセス：北千住駅（西口）から徒歩約 5 分

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

協力：チームしかく

【出演者プロフィール】



■Yu Ojima – Jimanica

ドラマー、作曲／編曲家。電子音楽から生演奏までのすべてを呑み込みながら、インディーズとメジャーポップの隙間を綱渡りしつつ走り抜ける。2005年ドラムソロ・アルバム“Entomophonic”をリリース。以降ドラム + PC でのソロライブを始め、即興からポップスに至るまでの多数アーティストと共演。近年では DE DE MOUSE や World’s end Girlfriend、蓮沼執太などのバンドに参加。オリコン一位となった山下智久のシングル『愛、テキサス』や、ももいろクローバーZのシングル『Z女戦争』にドラマーとして参加など、レコーディングワークでも活躍する。リミックス曲提供や編曲／作曲、CM 音楽なども多数手がける。

<http://jimanica.com/>



■HEXPIXELS

HEXPIXELS

"C++パンク" ユニット「HEXPIXELS」(ヘックス・ピクセルズ)

openFrameworks の Addon 開発者として世界的に有名な satoru higa と、国内外のさまざまなアーティストのライブ映像を手がける Kezzardrix によるユニット。インタラクティブなインスタレーションやライブパフォーマンス等の豊富な経験を生かし、コードやゲームエンジン等を用いたリアルタイムレンダリングを表現の主軸としている。

比嘉 了

1983 年生まれプログラマー／アーティスト。多摩美術大学情報デザイン学科卒業後よりフリーランスとして活躍。2011 年より株式会社ライゾマティックス所属。2015 年より再度フリーランスでリアルタイム 3D グラフィックス、コンピュータービジョン等の高度なプログラミング技術、多種多様なプロジェクトに関わった経験を生かし、インスタレーション、リアルタイム舞台演出、ライブパフォーマンスなど幅広い作品制作を行う。

<http://www.satoruhiga.com/>

Kezzardrix

自作ソフトウェアによる映像表現で、国内外のさまざまなミュージシャンのライブビジュアルを担当。2013 年には映像メンバーとして参加した「SjQ++」で Ars Electronica Award of Distinction を受賞。また、Yaporigami「The Motion Paradox」や LITE のツアーVJ 等が話題を呼ぶ。現代美術やインスタレーションのサポートプログラマーとしても多岐に活動。

<http://www.kezzardrix.net>



■小暮 香帆

ダンサー、振付家。平成元年生まれ。これまで笠井叡、笠井瑞丈×上村なおか、三浦宏之、岩淵多喜子、岩淵貞太、近藤良平など多数振付家作品に出演。国内のほかイタリア、インドネシア、メキシコツアーに参加。2012年日本女子体育大学卒業後、本格的にソロ活動を開始。ソロ公演「遙かエリチェ」(2013)、「ミモザ」(2015)を上演。また舞台のみならず LIVE、映画、MV に出演するなど、活動は多岐にわたる。第2回セッション・ベスト賞受賞。2015年横浜ダンスコレクション EX2015 コンペティション I 奨励賞受賞。めぐりめぐるものを大切にして踊っている。

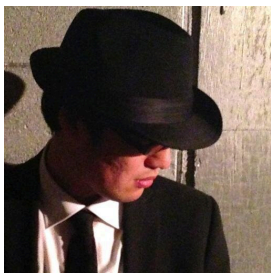
<http://kogurekaho.com>



■Akiko Nakayama

画家。近年の作品“AlivePainting”では、さまざまな性質を持つ材料を用い、反応させることで絵を描く。材料の化学的性質に加え、風、重力、振動などによって、二度と再現不能の景色がゆるやかに出現／消失し、その経験そのものを鑑賞者と共有する。パフォーマンス、写真、映像、と扱うメディアは多岐に渡るが、一貫してあらゆる物事のメタファーとしてうつろいゆく現象を発生させ、満ち欠ける陰と陽の姿を探求し続ける。最近の活動では、TEDxHaneda、Audiovisual Media festival 2015 (台湾)、MultipleTap EURO tour 等、国内外問わず描いている。

<http://akiko.co.jp>



■Nyolfen

ダンスミュージックを基調に幅広い楽曲を制作。2010年5月に2ndアルバム『As the earth dances』をリリース、タワーレコード渋谷店 J-Indies ランキングにチャートインし、大々的にコーナー展開が行われ一躍脚光を浴びる。Bunkai-Kei records から『fourpoles』をリリースし、国内外で高い評価を得る。そして2012年には、7月に3rdアルバム『Pulse』を PROGRESSIVE FOrM よりリリース、11月に Denryoku Label から『Eclipse EP』をリリース、Bunkai-Kei records からのリリースを続けるなど精力的な活躍を続ける。

<http://nyolfen.com/>



■大橋 史

1986年生まれ。言葉、図形譜をテーマにCGの有限性を意識したアニメーション表現の研究と作品発表をする傍ら、広告映像やMV、公共放送のモーションデザイナーとして活動中。作品の多くはwhite-screenやStashなど国内外のカルチャーマガジンや映像祭で上映・掲載され評価を受けている。近年の仕事は、ディアステージのアイドル『妄想キャリブレーション』のMVやフォークデュオ『ゆず』のコンサート映像の演出、科学教育番組『ミミクリーズ』のアニメーションを手がけている。

<http://takashiohashi.com/>



■NOEL-KIT

シンセやサンプラーから MAX/MSP プログラミングまでを縦横に駆使した、静かであてやかな世界観が特徴。エレクトロニック・インプロヴィゼーション・ユニット DUB-Russell の片割れとして SonarSound Tokyo などに出演のほか、ジェフ・ミルズのリミックスなども手がける。各所で人々をふんわりさせている色々秘密系ガール「ふんわりちゃん」のメカニックや天狗マガジンでの活動も展開中。また、ソロで谷崎潤一郎や水墨画の技法にインスパイアされた『In Praise of Shadows』(Bunkai-Kei records)、『Steamfunk』『TOKYO NOISE』(Bandcamp) を発表。

<http://noelkit.com/>



■Phasma

2011年に分解系レコーズより「Mirage EP」をリリース。これまでにさまざまな作品への楽曲提供、リミックス、コラボレーション、ライブ出演などを行いつつ、現在はNOEL-KITとともに「ふんわりちゃん」のメカニックとしても活動中。

<http://phasma.jp/>

【企画概要】

■千住ミュージックホール

千住ミュージックホールは、千住地域のあらゆる場所を舞台に開催するライブシリーズです。2015年度は、第8回を「スーパータイム☆パラボックス」と題して、西新井にあるギャラクシティを会場に、こどもディスコや結婚しよう！などの企画で、子供たちを楽しませました。音楽とともに千住のまちが踊り出す、まったく新しい千住の魅力を体感してください。

プレス画像使用について

広報用として、プレスリリースに掲載されている図版のご用意がございます。

ご希望の際は必要事項(媒体名、貴社名、発行・放送予定日、ご担当者名、Eメールアドレス、ご住所、電話番号)をお知らせの上、下記連絡先までお申し込みください。なお、その他の画像をご希望の場合は個別にお問い合わせください。

プレス画像の送付にあたり、利用者の個人情報を含む必要事項の提供へのご同意と、写真の使用に際し、以下の点へのご注意をお願いしております。ご了承ください。

プレス画像の利用は、当該画像に係る企画または当事業に関する記事掲載の目的での利用に限ります。

プレス画像の掲載に際しては、所定のクレジットの記載をお願いする場合がございます。

本企画をご紹介いただく場合には、恐れ入りますが情報確認のため校正、掲載誌等を下記広報担当宛にお送りください。

「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」事務局（担当：橋本、吉田、富山）

〒120-0026 東京都足立区千住旭町 22-9-201 音^{おと}う^ふ風^や屋

Tel：03-6806-1740（13:00～18:00、火曜・木曜除く）

Mail：info@aaa-senju.com Web：http://aaa-senju.com